

第8期

【自 平成 28 年 10 月 1 日 至 平成 29 年 9 月 30 日】

事業報告書

公益社団法人誕生学協会

会員数

<平成 29 年 9 月末日現在>

講師会員	232	名
一般会員	5	名
賛助会員	1	名
休会会員	50	名
合計	288	名

【公益事業】

公 1-1 開発研究事業

○児童養護施設の子ども達支援委員会（プログラム検討委員会）を実施。

10/18（火）第3回 @誕生学協会にて

11/16（水）第4回 @誕生学協会にて

12/2（金）第5回 @齋藤學先生の家族機能研究所にて

参加者：顧問：齋藤學氏、子どもの家：早川悟司氏、檜原真也氏、
理事：大葉、大間知、安斎

○講師による児童養護施設向けプログラム研究会

3/6（月）@誕生学協会にて 講師3名と理事2名により実施した。

○児童養護施設職員向け研修「リービングケア委員会」への参加

事務局長が毎月1回参加し、無償事業実施の広報を行った。また児童養護施設での諸問題に関する研修に参加することで、施設職員と触れ合い、児童養護施設への理解を深め、交流を深めた。

○こども関連研究会への参加

・4/23 齋藤學氏（顧問）JUST アディクションフォーラム2017 「引きこもり依存症」

○環境省との自然環境系コラボプログラムの開発

・大葉代表が審査員を務める環境省の「グッドライフアワード」、アンバサダーを務める「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクトに関連して、子ども達に命の大切さを自然環境から考える新しい誕生学スクールプログラムを、環境省、自然環境局 自然環境計画課 岡野隆宏氏と共に7月よりプログラム製作委員会を実施し、「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクトとコラボした授業の準備を行った。

○誕生学協会「自然環境新プログラム開講記念フォーラム」を開催

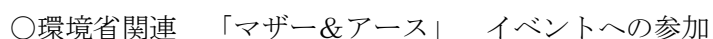
7/27（木）東京ウイメンズプラザ

講師：中井徳太郎氏、大江近氏、清水弘美氏、大葉ナナコ代表

参加者：講師、一般 20名

◎同時開催として、講師向け基礎講座を行った。

参加者：10名 ビデオ撮影し、全国の講師にはeラーニングに提供予定（9期）



延生学協会
大集十日



○環境省コラボ授業「人のいのち、地球のいのち」パイロット授業の実施
9月11日（月）八王子市立武部方小学校にて実施 講師：大葉ナナコ代表



○誕生学スクールプログラムの開発

- ・スタンダードシナリオの改訂を行い、2017 年度版として講師全員に配布した。

○「ホリスティックビューティライフ 2017」に出展（9/9～10）@東京

環境省の森里川海ブース内にて、誕生学の新しいプログラムの案内資料を展示した。

○講師活動支援

1) 新会員証の発行

講師一人ひとり専用の会員証を発行した。

ID 番号で管理し、年度ごとに更新した講師に発行することとした。

2) 三つ折りパンフレットの提供

広報に使うためのスクールプログラムの案内パンフレット（三つ折り）を新規製作し、講師全員に提供した。

3) 小学校用スクールプログラム案内DVDの提供

小学校にて紹介する際の資料として講師全員に提供した。

公 1-2 保護事業

○ゲスト授業依頼フォーム、計画・報告フォーム構築及び集計

スクールプログラムの申し込み窓口をホームページ上に設けて、学校からの申し込みと集計を円滑に行った。



また協会受付以前に講師が受託したゲスト授業については、計画フォーム、報告フォームを設け、上記二つを合算して、3か月に一度集計を行い、ホームページ上にて公開した。その後計画フォームと報告フォームは、8期末で閉鎖し、申込みフォームに一元化を計った。



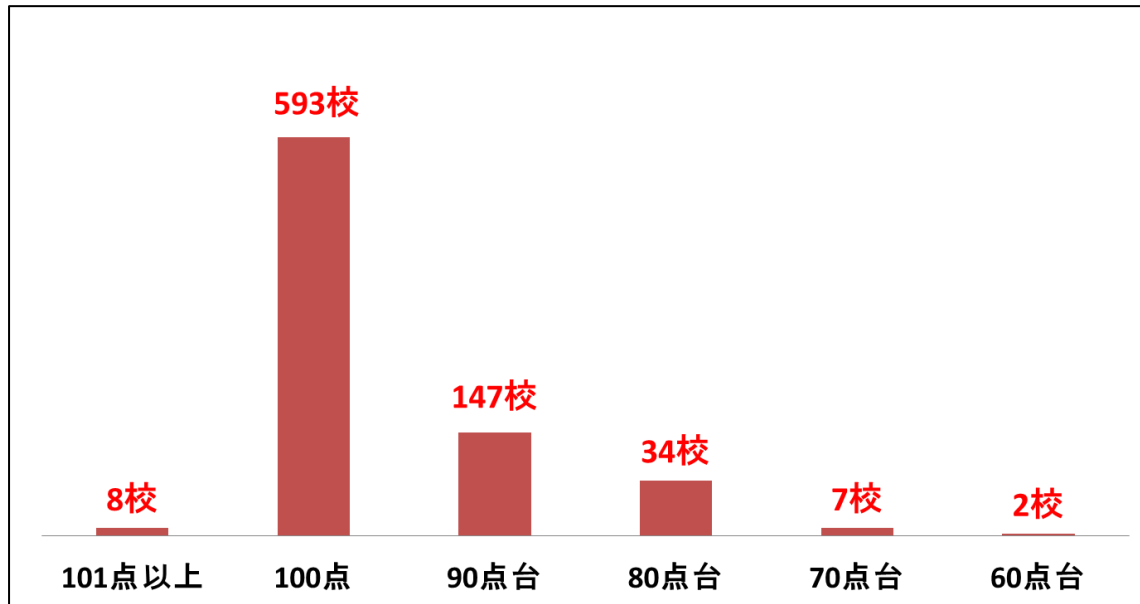
スクールプログラム実施状況 〈 2016年 10月～12月 〉 (2017/1/20 現在)	
実施場所	実施数
幼稚園・保育園	13 園
小学校	136 校
中学校	72 校
高校	26 校
大学・専門学校	4 校
サロン	20 カ所
自治体	8 カ所
他(NPO、学童、保護者会等)	43 カ所
計	322 カ所
子ども	27,324 名
大人	3,214 名
総数	30,538 名

○第三者評価事業

学校等でのゲスト授業への第三者評価アンケートを実施した。概ね満点の採点をいただき、プログラムへの高い評価をいただいた。

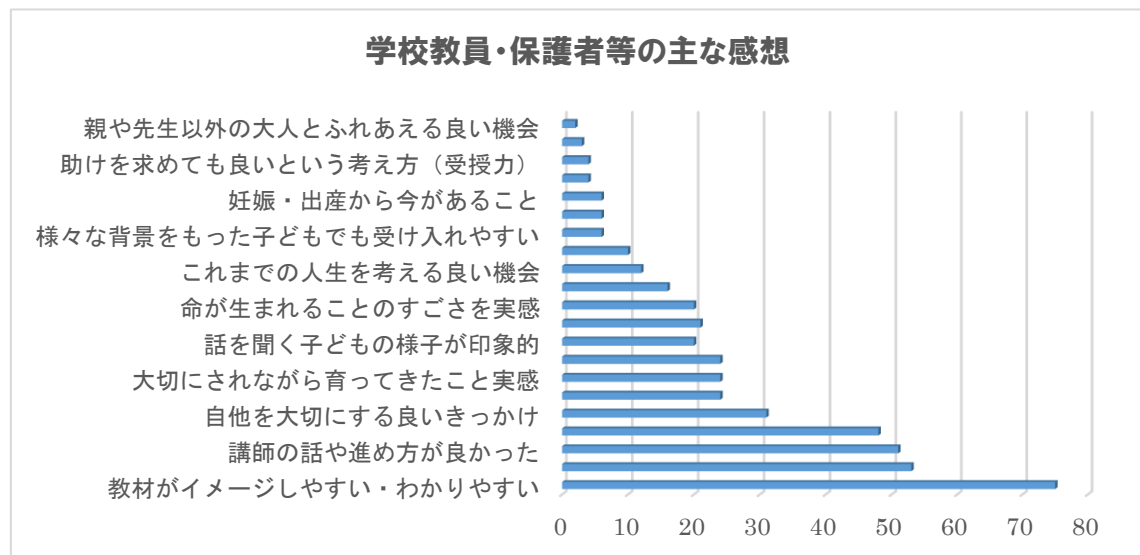
①総合評価得点

(期間：2015/10/1～2017/8/10 まで合算)



②導入目的

(期間：2016/10/1～2017/8/10 まで合計)



※注：学校教員の約70%は養護教諭

公 1-3 普及事業

◇誕生学スクールプログラム実施事業

全国の学校より依頼を受けて、誕生学スクールプログラムのゲスト授業を講師が行った。
8期からスタートした、協会が受付を行う新システムは、講師会員の協力を得てほぼ学校からもご理解をいただき、申込みフォームよりスムーズに受付を行うことができた。

＜8期 2016年10月～2017年9月＞

- ・ゲスト授業 実施数 878校
- ・受講人数
 - 子ども 65,290名
 - 大人 9,998名
 - 合計 75,288名

※上記の数は、協会の申込みフォームからの依頼と講師から報告があった分のみ集計した。

◇社会貢献事業（助成金事業）

○ガールズエンパワメントプロジェクト

【日本郵便㈱年賀寄附金助成】2017年4月1日～2018年3月31日

1) 冊子製作「ガールズエンパワメントブック」増刷・配布

増刷をかけて、引き続き学校や関連団体に配布した。

○NPO法人しあわせなみださん

- ・ガールズエンパワメント冊子のイベント等での配布を協力いただいた
- ・3/15(水)実施 「キャンパスレイプを止めよう！」@衆議院会館 その他で配布。



2) 「ガールズ&ボーイズプログラム」無償授業実施

○日本郵便年賀寄附助成事業 (2017年4月～2018年3月迄実施)

4月より広報を開始し、順調に実施校を伸ばし、9月末までに、80校(回)依頼をいただいた。目標100校は年内に達成する見込み。

今年度は、昨年から好評であった、男女一緒に学べる「ガールズ&ボーイズプログラム」を提供した。沖縄から北海道まで、幅広く実施依頼をいただいた。

主に中学が多く、早めの性行動を予防したいとする中学校の意向がうかがえた。

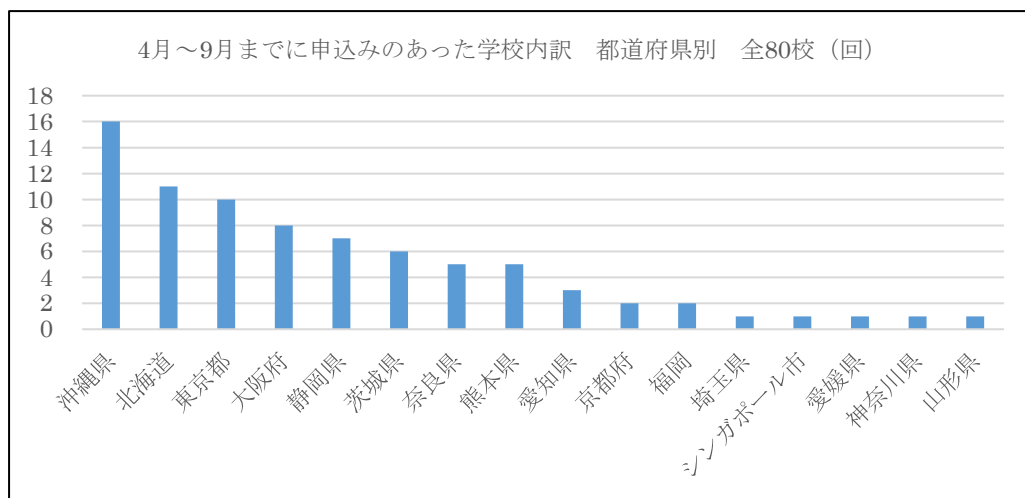
学校の種別では、工業系や、定時制高校等からも依頼があった。

実施数：2016年4月～2017年9月：80校(回) (事業は2018年3月迄実施)

同時に「ガールズエンパワメントブック」を配布し、可能な学校では専用のアンケートを実施した。集計結果は今後公開予定。

来年3月末で集計報告書を作成し、助成元に報告書を提出予定。





3) 「家庭で伝える性と生命の話」講演会

講師：大葉ナナコ

- ・6/18（火） @東京 オリンピック青少年センター
- ・7/1（土） @大阪 ドーンセンター

子ども達を性被害者にも加害者にもしないための家庭での取組みについて講演した。

子どもたちの未来を育よう。

こども未来塾

親子で学ぶ機会が、ここから始まる。

～家庭で伝える性教育講座パート１～
子ども達と被害者にも加害者にもしない！
いのち性を大切にする次世代育成のために

家庭で伝える 性と生命の話

自分自身を守り生き延びるには。
そして子どもの性被害・性加害予防のために。
家庭でのように性と生命の話をすればいいのでしょうか。
30年間の子育て経験と、学校現場や家庭教育できる性教育に精通する講師から、昨今の痛ましい子供の性被害事件の現状を踏まえ、大人として親として知っておくべき知識と性に関する子どもへの正しい伝え方を学びます。子どももかまわず自身の質問に応えられる対話技能を高め、子どもの未来を守りますよ。

大阪府
貝塚市内
Zに於て
公開！
大人気講演

ぜひお母さん
Q&A Book
※参加特典★
全席にお渡し！

<第2期>> 15:45~16:30 【参加料：無料】
産生学アドバイザー養成研修説明会

※国の方針に沿って行われます。
いのちについて考える基礎作り（産生学スキルプログラム）を学校に響ける産生学アドバイザールの活動内容と育成期間についてご説明いたします。

＜新刊＞7月1日(土)

13:30～15:30 開催：13:15

会場：**大阪市立男女共同参画青少年センター（トーンセンター）視聴覚スタジオ**

アクセス：京阪大高橋駅、地下鉄町田駅大南口徒歩約5分、東山線大高橋駅から徒歩約15分、JR天王寺駅からバス乗換徒歩約15分

参加費：1,500円(税込) ※事前申込制／当日払い可

講題：大葉ナカコ

独立行政法人若狭湾環境文化創造事業、パースコーディネーターとしての経験があり、女性生活支援やセクハラ問題に関与。結婚前、出産後等様々な悩みを抱え、その中で「産生学」を知ったことで人生が大きく変わりました。産生学の重要性がある中、産生学プログラムの開発や普及啓発活動を行っています。育児、家事、学習など多岐にわたる課題解決に向けて、産生学的な視点からのアプローチに取り組んでいます。また、産生学はあらゆる分野で活用できます。今後、さらなる発展を目指しプロフェッショナル化していきます。

●主催：第一社会設計

小島千恵子先生による講話

小島千恵子先生による講話

<お知らせ：電話または専用サイトでお申し込みください>

◆お電話 → TEL 03-5739-5761◆専用サイトへ →

[illegible]



◆7/18（火）「性被害の実態について学ぶ」札幌市教育委員会後援

講師：小笠原和美さん（北海道警察函館方面本部長）

@札幌生涯学習センター ちえりあ

参加者：40名 誕生学協会の講師、近隣学校教師、保護者に広報した。

◎チラシ配布先

発寒小学校、手稲宮丘小学校、発寒南小学校、西小学校、西蘭小学校、手稲東中学校、発寒中学校、宮の丘中学校、5000部父兄に配布していただいた。

当日のようすはNHK、HTBの2つのテレビ局の取材を受け、ニュース報道がされた。

誕生学協会【ガールズエンパワメントプロジェクト】研究会

＊札幌市教育委員会後援＊
特別講演会開催！

子どもの
性被害を防ぐには？
その実態とは？

～子どもを性被害から守る～
「性暴力被害の実態と予防教育の重要性」
夏休み前、家庭で学校で地域でできる取組みを考えます！

7.18(火)
10:00～11:30 am
会場：札幌市生涯学習センター ちえりあ
(札幌市西区宮の丘1条1丁目1-10) 中研修室2

＊入場無料＊
※お子さんの当日参加が希望です。

講師紹介

小笠原和美氏
北海道警察
函館方面本部長

◆アシリター
大葉ナナコ
公認生涯学習
代表理事

◆会場アクセス
地下鉄 東西線 宮の丘駅下車
地下直結通路 徒歩約5分
(大通駅～宮の丘駅約5分)

TEL 03-5738-5761
info@tanjo.org

第26823号（日刊）

2017年
7月15日
土曜日

発行所
北海道新聞社
〒060-8711 札幌市
中央区大通西3丁目6
電話011-221-2111
d.hokkaido-nippo.co.jp

読者センター
011-210-5888
(札幌市中央区南一条西5丁目1番地)
ご購読申し込み
0120-464-104

31 第4社会 16版 2017

「知って北海道」

考える

■ 性被害から子どもを守ろう

公益社団法人誕生学協会（東京都）は18日午前10時から、札幌市西区宮の丘1の1の同市生涯学習センターちえりあで、子どもを性被害から守るための講演会を開く。

道警函館方面本部の小笠原和美本部長が講師を務める。「性暴力被害の実態と予防教育の重要性」と題し、函館での性暴力被害の支援活動などを紹介する。入場無料。当日受け付け可。問い合わせは同協会03・5738・5761へ。

◆9/30（土）性被害予防フォーラム@四国

◎会場：丸亀市保健福祉センター（ひまわりセンター）

◎講師：小貫大輔氏（東海大学教授）、大葉ナナコ（誕生学協会代表）

山本文子氏（助産師）、仙頭真希子氏（弁護士：コーディネーター）

◎後援：香川県、香川県教育委員会、丸亀市教育委員会、善通寺市教育委員会

◎広報：マスコミ他、四国内のさまざまな団体や子ども支援の団体に広報した。

・NHKの記者による取材を受けた。

・前告知：香川経済レポート社冊子イベント欄

◎成果：性暴力被害者も加害者も出さない地域を目指してと題して、予防事業の講演会とパネルディスカッションを開催。当日は70名以上の方々をご参加くださり、産婦人科医や助産師、自治体の職員、子ども支援のさまざまなNPOの参加を得た。

満足度アンケートでは「大変よかった」が99%であった。

小貫大輔先生の基調講演内のワークショップでは会場を巻き込んで行われ、世界と比較して日本の性教育の遅れと改善ポイントも再確認した。また35年間性教育の講演で全国を廻る山本文子助産師からは、現場を知るプロとしての意見をうかがえ、専門家、地域、保護者さまざまな参加者にたいへん好評で成果を得た。

参加者：70名

【主催：誕生学協会 ガールズエンバワメントプロジェクト】
後援：香川県・香川県教育委員会・丸亀市教育委員会・善通寺市教育委員会

性被害予防フォーラム

子ども達が身体や心を大切にするマインドを育み、
性被害者も加害者もゼロの地域を目指して。

頻発する子どもへの性被害。性暴力を防ぐために
家庭で、学校で、地域でできる取組みを
専門家による講演とパネルディスカッションで考えます！
子ども達を救えるすべての方が対象のフォーラムです。
お気軽にご参加ください。

2017年9/30(土)
13:30～16:30 (受付開始13:00)

★入場無料 ★定員150名

<第1部 基調講演>
13:40～14:40 小貫大輔氏「未来を救う性教育～各国の比較から～」
14:40～15:30 大葉ナナコ氏「家庭で伝える性と生命の話」
<第2部 パネルディスカッション>

会場：丸亀市保健福祉センター（ひまわりセンター）4階
丸亀市大手町二丁目1番7号（丸亀駅大手町駅）
★駐車場には限りがありますので、近隣の市営駐車場も併せてご利用下さい。

★児童先着15名まで受付（無料） 対象：生徒の1～12才迄
託児を希望する方は、tanjo@sento-law.comまで、お子さんの名前、
年齢（3才以下は月齢も）、アレルギーの有無を記載し申込みください。

当日、性被害予防リーフレットを配ります！

講師・パネラー

小貫大輔氏
東海大学教授、国際協力・人間関係・ジェンダー研究、日本性教育協会理事、アジア太平洋セクソロジー連盟評議員

大葉ナナコ氏
（公）誕生学協会代表理事
（財）ベビー・バースフレンドリー財団代表理事
バースコーディネーター

山本文子氏
いのちめがせたい代表助産師

仙頭真希子氏
弁護士
誕生学アドバイザー

ハワイ、ブラジルなど海外で50年に渡りエイズ対策や自然分娩、乳育児の推進、子育て支援などの国際的なプロジェクトに携わり、現場では毎日外国人の子どもの教育支援にも尽力。

経歴出身の産婦人科医としての大切な事を伝えるようにして、バースコーディネーター、産後ケア、産後ケアコーディネーター、産後ケアコーディネーターとして活躍中。産後ケアの重要性を伝える講演活動も全国で展開中。

50年に渡り助産師として産婦人科医療活動と共に、産婦人科の子供達やお母さん、社会人から産後ケアまでいろいろな分野で活躍中。産後ケアの重要性を伝える講演活動も全国で展開中。

産後ケア10年。2017年から誕生学アドバイザーとして、産後ケア、小児科などでの活動を行うと共に、子どもたちの性被害予防教育に力を入れている。8月には丸亀市男女共同参画推進員研修で講師を務める。

公益社団法人
誕生学協会
The And Birth Studies Association
東京都渋谷区元代々木町10-10-2F

★お問合せ・ご予約★
右のQRコードから、または電話、メールにてお申込みください。

TEL 03-5738-5761
info@tanjo.org





<※以下は9期分ではありますが、ご報告します>

◆10/7（土）性被害予防フォーラム@熊本

◎会場：男女共同参画センター はあもにい

◎講師：

寺崎和美氏（NPOグループゆるり）

境真奈美氏（合志市職員）

ほしおか十色氏（性被害当事者、子ども支援）

田尻由貴子氏（助産師、こうのとりのゆりかご）

大葉ナナコ（誕生学協会代表）

ユール洋子氏（誕生学協会理事）

◎後援：

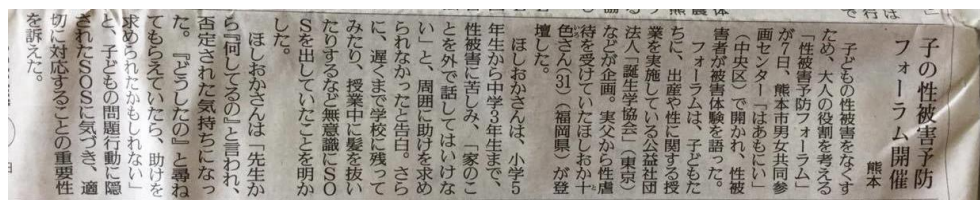
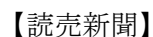
熊本県教育員会、熊本県助産師会、合志市、前田産婦人科医院

◎広報：マスコミ他、熊本県内のさまざまな団体や子ども支援の団体に広報し、熊本県民テレビ、読売新聞、熊本日日新聞の取材を受けた。

◎成果：四国丸亀に引き続き、熊本にて、同じく性被害予防フォーラムを実施した。今回は、市の職員さん、性被害者の支援をしているNPO団体、そして、性被害当時者の方にも登壇いただき、地域の実態や各団体の支援活動の内容や支援の実態、その方法などを共有した。

また性被害当事者のほしおかさんの壮絶な体験と意見をうかがい、被害にあっていることをまわりの大人に言えない実態、助けてのサインに大人が気づかない実態を知る機会となった。まわりの大人は、子どもの少しの変化に気づき、声をかけたり、耳を傾け相談にのることが重要であることを示唆する内容になった。

参加者：75 名



【熊本県民テレビのニュース】2017年10月8日放映

